

第5回 第3次東員町行財政検討委員会会議録

1. 開催場所	東員町役場西庁舎201・202会議室
2. 開催日時	平成24年 2月10日(金) 午後 1時30分 開会 午後 4時30分 閉会
3. 出席委員 (敬称略) 出席幹部	岩崎恭典 酒谷宜幸 阿久根チサエ 馬場順子 三浦信一 種村拓夫 毛利次郎 藤田昌義 伊藤郁子 伊藤英也 中村宗和 (欠席：川杉美津江) 総務部長 総務課長 町政戦略室長 政策情報課長 長寿福祉課長及び課長補佐、健康福祉課長及び係長
4. 内 容	<p>1. 委員長挨拶</p> <p>2. 第4回東員町行財政検討委員会の会議録について 第4回の会議録についての内容確認及び今回の会議の協議事項についての確認。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 東員町シルバー人材センター及び東員町社会福祉協議会への提言について</p> <p>委員長及び副委員長より東員町シルバー人材センター及び東員町社会福祉協議会への提言について説明</p> <p>委員 : 評価が甘いと思います。</p> <p>副委員長 : 基本的にただの批判ではなく、何とか頑張ってもらいたいという期待を込めた提言にしたいと思っています。でも厳しいところは厳しくという形にしたいと思っています。</p> <p>委員 : 社協は財産を3億7千万持っていますが、貯め込むだけの資産なのですか。これをどうするかという方針はあるのですか。</p> <p>健康福祉課長 : 実態としては、過去に協議した経緯はなく、何かあったときに使うというはっきりとした目的はなくやってきております。今後そのお金をどの程度貯める必要があるのかそもそも論を話し合っております。結論は出ておりませんが、至急検討したいと思っています。</p>

	<p>委員 : このお金は社協独自に使えるお金なのですか。</p> <p>健康福祉課長 : 基本的には独自に運用していただく事は可能ですが、機関決定ですので理事会等で決めていただく事になろうかと思えます。</p> <p>委員 : 事業がばらばらになっているので、総合の複式簿記にしてもらおうとよく見えてくると思えます。</p> <p>委員長 : 県内のある社協では10億積んでおり、震災が起きた時に救援のために使いますとの事でしたが、それだけで10億積む根拠にはならないと感じました。内部留保をどう扱うかについて、検討の必要はあるだろうと思えます。</p> <p>委員 : 社協の補助金は万が一ゼロとした場合何か問題はあのでしょうか。</p> <p>健康福祉課長 : 主に職員の人件費となっています。極論でゼロとなると事業をいくら切っても人件費を賄えないかと思えます。</p> <p>委員 : 仮に積立金の利用を検討し、うまく運用することによって人件費を捻出できるのではと思えますが、補助金を圧縮した場合、事業にだけ影響を与えるのか、対外的に派生した影響を与えるのかというのはどうですか。</p> <p>長寿福祉課長 : 事業の積立金は、介護事業収入による事業収益で、その分は介護報酬で頂いた分を積み立てております。その他には退職金の積立等があります。今までの事業収益を積み重ねて、介護事業でマイナスが出た場合には、介護事業準備基金から取り崩して補てんするという考え方で積み立てておりました。ただ、全て介護事業だけで賄うかどうかという部分は、今後一般事業にも補てんしてよいかという点も踏まえてご検討いただきたいと思えます。</p> <p>委員 : 事業を特化していくという方針がありますが、補助金をなくすことで事業を特化できなくなるようでは困るので、事業を特化していくという事と整合性のもたない提言をだす訳にはいかないの、町と社協が協議をして住み分けをして欲しい。</p> <p>副委員長 : 30名とありますが、開催方法がわかりませんが、一度に30名だとすると意見交換が困難だと思いますので、もう少し少数で意見交換ができるようにしていただければと思えます。</p> <p>長寿福祉課長 : 議論ができるような各分科会のような形でできればと思っております。</p>
--	--

	<p>委員 : 東員町の予算の作り方を簡単に教えていただけないでしょうか。</p> <p>総務課長 : 総合計画に基づきまして、事前に3ヶ年程の計画を企画調整委員会で検討し、各課で素案を作り、副町長を中心に財政係で1カ月程予算査定を行います。見積内容を検討し、町長と意見のすり合わせをし予算を積み上げていくという形になり、今最終の詰めをしております。</p> <p>委員 : 社協からの補助金の申請を役場がチェックしていると思いますが、年度間で差があり基準はあるのでしょうか。介護の積立金は3年間変わっていませんが、退職金だけが増加しており、おかしいのではと思います。</p> <p>委員長 : 行政の予算の仕組みからいくと、現在の事業をある程度継続性を基本として、見直しを来年度予算に反映させるには次の年にならざるを得ないように思います。</p> <p>委員 : 資料では積立金の目的がわかりません。目的をつけて組織の規模からしてどのくらいが妥当かという説明がないと納得はできません。補助金が全額人件費に充てられているというのは理解できません。人件費は事業の原資ですから、補助金を考えずに人件費を組立てなければ組織ができあがらないはずなので、考え方が少し違うのではないですか。</p> <p>委員長 : どこの社協も同じですが、介護保険導入に伴い介護事業をやる事業者がなく社協がすることになり、介護保険の収入が突然入り事務局を作らなければならない事になり、介護事業者となった事が行政との関係が近くなった原因だと思います。色々ご指摘をいただいておりますので、4月以降の検討会でも参考にさせていただければと思います。</p> <p>(2) 補助団体の事業内容について</p> <p>・東員町商工会 商工会会長及び事務局長から事業内容を説明</p> <p>委員長 : 会員数は町内事業所のどのくらいをカバーし、増えていますか、減っていますか。</p> <p>商工会会長 : 数字としては65.8%です。東員町では増加し表彰を受けましたが、県内では年々減少してい</p>
--	--

	<p>く傾向にあります。</p> <p>委員長 : 減少の理由とはなんですか。</p> <p>商工会会長 : 後継者の問題が大きいのではないかと思います。</p> <p>委員長 : 東員町で会員が増えたのは、積極的な営業によるものですか。また入会によるメリットはありますか。</p> <p>商工会事務局長 : 毎月会員事業所を回るようにしていますが、非会員の方にも話をしていく中で会員になっていただいています。中小企業で、節税対策等知らない事がありますので、ぜひ相談してくださいと話しております。</p> <p>委員長 : 入会金はどのようになっていますか。</p> <p>商工会事務局長 : 入会金は加入時2000円、会費は5000円を基準として事業者の規模に応じて計算させていただきます。</p> <p>委員 : 支店や支社といった町外の企業は会員となるのか、会員になれないのかどうでしょうか。</p> <p>商工会事務局長 : 正会員となります。</p> <p>委員 : 賛助会員とはどういうものですか。</p> <p>商工会事務局長 : 賛助会員は町外に事業所があり会員となっている方となります。</p> <p>委員 : 役員の事業所と役員でない事業所とで会費は異なりますか。</p> <p>商工会事務局長 : 同じです。商工会によっては役員となると会費を上げるところもございます。</p> <p>委員 : 商工会の職員は何人ですか。</p> <p>商工会事務局長 : 5人です。</p> <p>委員 : 商工会役員は役場から派遣されたりするのですか。</p> <p>商工会会長 : それはありません。会長、副会長、理事は無報酬でやらせていただいています。</p> <p>委員長 : 会長職というのは商工会のために時間を取られるものですか。</p> <p>商工会会長 : 結構取られます。今までのままで良ければそれまでですが、商工会を良くしていこうと思えば動かなくてはなりません。</p> <p>委員長 : ステップアップしたいというお話ですが、具体的にどういう方向へ向かおうとお考えですか。</p> <p>商工会会長 : 人がおりませんので、誰が来ても5人でオールマイティな仕事をしていますが、商工会のこれからのあり方に関するプロジェクトチームを作って</p>
--	---

	<p>勉強しました。私もその1人ですが、県内13人のプロジェクトチームで素案書を作り、県に逆提案をしようという事をしております。オールマイティではなく組織を固め、専従化しより高度な課題解決をしていこうと目指しております。高度な課題解決とは、例えば北勢広域連合内7つの各商工会から経営指導員2人ずつ計14人が皆でより高度な事を目指していけるよう考えております。</p> <p>委員： 東員町には商工観光課はありますか。専属職員はありますか。</p> <p>建設産業課長： 商工観光課はございませんが、建設産業課が所管しており、専属はおりません。正直なところ商業工業については商工会へお任せしております。その中で融資制度というのがございまして、商工会を通じて申請をしてもらっています。</p> <p>委員長： 町から1370万円の補助がありますが、具体的にどういう形で使われていますか。</p> <p>商工会事務局長： 県から小規模事業支援費として2832万6千円をいただいております、職員や講習会に3970万円掛かっており、足りない部分に充てております。工業部商業部建設部会等の需用費にも一部充てております。1370万円のうち、1100万円程を県からの補助の足りない部分、残りの270万円程が部会のまちづくり活動に充てているという事です。</p> <p>委員長： 会員同士が競争相手となるような事があるかと思えますが、自由競争で淘汰されると思うので、そこに補助金が使われるのが理解できないのですが。</p> <p>商工会事務局長： 小規模事業支援法というのがあり、国が全産業の過半数を20名以下の小規模事業者が支えているという認識があり、大企業は自分で出来ますが、大企業を支えている小規模事業者はできないのでそれを支えようというのが趣旨です。</p> <p>委員： 補助金額は今年度と比較して昨年度や来年度はどうか。</p> <p>商工会事務局長： 商工会の職員は県内で異動があり、補助金は人により人件費が異なるので年度により異なります。</p> <p>委員長： 3970万円の内、職員5名の人件費も含む訳ですね。</p> <p>委員： 商工会職員はどのような資格をお持ちですか。</p>
--	---

	<p>商工会事務局： 簿記や販売士、ファイナンシャルプランナー、シスアド等職員によって異なります。</p> <p>委員： 職員はどこで採用されるのですか。</p> <p>商工会会長： 県の連合会で採用されます。</p> <p>副委員長： 会員同士が競合となる場合、他人のマーケットを取ってまで売上げを伸ばしたいという相談があればどうされるのですか。</p> <p>商工会事務局： 他の事業所を蹴落としてまで助けるというような事はございません。</p> <p>委員： 商工会が元気にならないと商売が繁盛せず税金が取れないと思いますので、バックアップといたしますか広い意味で考えていく必要があると思います。</p> <p>商工会会長： 東員町のイメージキャラクター「と一馬くん」やスイートバテートといったもので町のPRをしています。</p> <p>委員： いなべ市に「うりぼう」という地産地消の販売店がありますが、東員町はどうですか。</p> <p>商工会会長： 財政的なものもありますし、東員町に合ったまちづくりをしていかないといけないと思っております。</p> <p>副委員長： 地産地消や特産品の話がありますが、支援していただきたいのは具体的にどんなことですか。</p> <p>商工会会長： 商工会の中で特産品を作るために施設を作りたいと思っています。売り上げたお金で支援事業に使いたいと考えています。</p> <p>副委員長： 本来の事業以外でお金を稼ぐという事自体が形が違うのではと思います。</p> <p>委員長： 特産品開発については、町長に要望している商工会が考えている事がまとまった紙があれば見せていただきたいと思います。</p> <p>委員： 同じ業種でも経営方針が異なると思いますが、どのように指導するのですか。</p> <p>商工会会長： 事業者毎で考え方はそれぞれで課題も異なるので、何度も足を運んで課題を引き出すために信頼関係が必要であると考えています。</p> <p style="text-align: center;">・ 東員町観光協会 観光協会会長及び事務局から事業内容を説明</p> <p>委員長： 設立から6年という事ですが、設立の経緯を教</p>
--	---

	えてください。
観光協会会長 :	詳しい経緯はわかりませんが、大社祭をもっとお客様を増やせないかという話からPRするためにできたと聞いております。
委員長 :	商工会の地域振興事業と重なる部分があるように思いますが、住み分けはされているのですか。
観光協会会長 :	お互いに協力しながら東員町を良くしていこうと考えています。商工会会長と話しをしていますので、自ずと役割分担されています。
委員 :	中部公園は三重県で人気ナンバーワンとなっておりますし、何が当たるかわからないと思います。当たると思っ外れる事もありますので、ある程度は覚悟した上でおやりになると良いと思います。もう一点、東員町は全国から注目されていて、地図で見ればとても小さな自治体が町として成り立っていて、前回の15名の議員年齢も全国でも高く、全国的に地方自治をしている人は東員町を見えています。町外から沢山人を呼べると思いますので、PRも考えていただきたいと思います。
委員 :	6年経って会員が70名というのは、あまりに努力不足だと思います。会員を増やす努力をしていかないと、協会の存続が問われると思います。賑わうまちとありますが、どういう目標をおもちですか。
観光協会会長 :	設立当初は600名程の会員でしたが、当時は自治会長にお願いしておりました。会員の方に特典を作っていたところお金が掛かるようになり、料金をあげたところ今の人数となりました。
委員 :	中部公園には遊具やパークゴルフ場といったものがありとても良い施設ですが、売店や駐車場を充実させてもらえると良いかと思います。
建設産業課長 :	公園に来ていただくだけで町に潤いがないので、来ていただく方にお金を落とすとしていただく仕組みを考えておりますが、補助事業で作った都市公園ですので、法的なクリアが必要となります。管理棟を利用した活動を考えており、具体的な話を進めております。
委員 :	領収証に入会金とありますが、入会している人がまた入会することになるので一度考慮して欲しいと思います。それと、管理棟で神社が作ったお酒等を置いて販売することはできないのですか。

	<p>観光協会会長： 現金を扱うのが嫌でパークゴルフも販売機を設置しておりますが、4月から管理する事となれば考えたいと思います。</p> <p>委員長： わからない点等改めて質問したいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>次回は取りまとめの仕方も再度確認をし、皆様にも御協力いただきたいと思います。次は3月8日（木）の午後ということでお願ひします。</p> <p>閉会 午後4時30分</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--